

離散数学 I 2018 年度前期期末試験 (1)

クラス (工学科)

学生番号

氏名

1. $S = \{1, \{2, 3\}\}$ とする以下の関係のうち成り立つものには○を成り立たないものには×を回答欄に記入せよ. (7点)

(a) $2 \in S$ (b) $\{1\} \subseteq S$ (c) $\{1, 2\} \subseteq S$ (d) $\{2, 3\} \in S$ (e) $\{2, 3\} \subseteq S$ (f) $\{1\} \in 2^S$ (g) $\{\{2, 3\}\} \subseteq 2^S$

(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)	(g)

2. $S_1 = \{0, 1, 2\}$, $S_2 = \mathbf{N}$ (0 を含む自然数全体), $S_3 = \mathbf{Z}$ (整数全体) とする. また, $S_i \times S_i$ 上の 2 項関係 \prec を以下のように定義する.

$$(x, y) \prec (z, w) \stackrel{\text{def}}{\iff} (x < z) \vee (x = z \wedge y < w).$$

このとき, 以下の各論理式 A_1, A_2, A_3, A_4 が領域 S_1, S_2, S_3 のもとで真となる場合は○を, 偽となる場合には×を回答欄に記入せよ. (12点)

$$A_1 = \forall x \forall y \exists z \exists w \left((x, y) \prec (z, w) \right) \quad A_2 = \exists x \exists y \forall z \forall w \left((x, y) \prec (z, w) \right)$$

$$A_3 = \forall x \forall y \exists z \exists w \left((z, w) \prec (x, y) \right) \quad A_4 = \exists x \exists y \forall z \forall w \left((z, w) \prec (x, y) \right)$$

	A_1	A_2	A_3	A_4
S_1				
S_2				
S_3				

3. 次のように定義される自然数 \mathbf{N} (0 を含む) 上の各 2 項関係 R_i は, 反射性, 対称性, 反対称性, 推移性のうちの性質を満たすか. 満たす場合には○を, 満たさない場合には反例を解答欄に記入せよ. たとえば反対称性に対する反例の場合, 「 $1R_i2$ かつ $2R_i1$ であるが $1 \neq 2$ 」のように書くこと. (24点)

$$xR_1y \stackrel{\text{def}}{\iff} \exists n \in \mathbf{N} \text{ s.t. } 2x + y = 2n$$

$$xR_2y \stackrel{\text{def}}{\iff} \exists n \in \mathbf{N} \text{ s.t. } x - y = 7n$$

	反射性	対称性	反対称性	推移性
R_1				
R_2				

4. $n \geq 1$ なる任意の自然数に n 対して, $1 \cdot 1! + 2 \cdot 2! + \dots + n \cdot n! = (n+1)! - 1$ が成り立つことを数学的帰納法により証明せよ. (7点)

離散数学 I 2018 年度前期期末試験 (2)

クラス (工学科)

学生番号

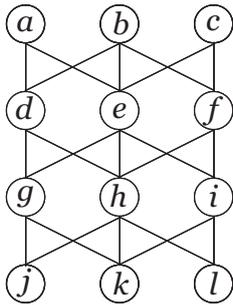
氏名

5. p, q, r を命題変数とする論理式の集合を L とする. 論理的同値関係 \equiv による, L の分割 (商集合) L/\equiv を求めよ. (7 点)

$$L = \{ (p \rightarrow q) \rightarrow (p \wedge r), (p \rightarrow q) \rightarrow r, (\neg p \rightarrow r) \wedge (q \rightarrow r), p \wedge (q \rightarrow r) \}$$

$L/\equiv =$

6. 以下のハッセ図で表される半順序集合 $X = \{a, b, c, d, e, f, g, h, i, j, k, l\}$ と, X の部分集合 $S = \{d, g, h\}$ に対して, S の (1) 上界, (2) 下界, (3) 最大元, (4) 最小元, (5) 極大元, (6) 極小元, (7) 上限, (8) 下限をそれぞれ求めよ. また, 存在しない場合には「なし」と記入せよ. (8 点)



(1) 上界

(2) 下界

(3) 最大

(4) 最小

(5) 極大

(6) 極小

(7) 上限

(8) 下限

7. 以下の間に答えよ. (15 点)

- (1) 差分方程式 $f(n) - 2f(n-1) - 3f(n-2) = 0$ の一般解と初期値 $f(0) = 6, f(1) = 2$ を満たす特殊解を求めよ.

一般解: $f(n) =$

特殊解: $f(n) =$

- (2) 差分方程式 $f(n) - 4f(n-1) - 5f(n-2) = 4n + 1$ の特殊解を 1 つ求めよ.

特殊解: $f(n) =$